

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 多系統萎縮症における病態形成遺伝子の探索

【研究責任者】 村松里衣子(神経研究所、神経薬理研究部、部長)

【本研究の目的及び意義】

多系統萎縮症の病態機序の解明と治療標的分子の発見を目的とする。臨床的分類および病理所見を基に特定の部位で病巣が観察された検体および対照群における遺伝子発現の変動について、特に空間的な情報を関連付けて解析することで、脳領域のいかなる種類の細胞のどの遺伝子発現が変動しているか、見出すことを目指す。

本研究で、NCNP ブレインバンクおよび美原記念病院より提供された脳標本を用いて NCNP 神経研究所神経薬理研究部において実験を行い、その解析の一部を千葉大学との共同研究およびマクロジェンジャパンに委託し、国立がん研究センターにおいてさらに解析を深めたのちに、NCNP 神経研究所神経薬理研究部においてさらに解析を行う。

NCNP ブレインバンクおよび美原記念病院から NCNP 神経研究所神経薬理研究部への資料提供は手渡し、NCNP 神経研究所神経薬理研究部から千葉大学およびマクロジェンジャパンへの試料送付は宅配便、マクロジェンジャパンから国立がん研究センター、国立がん研究センターから NCNP 神経研究所神経薬理研究部、千葉大学から NCNP 神経研究所神経薬理研究部へはそれぞれ電子データを郵送する。試料および電子データは、鍵付きの保管庫に保管する。

多系統萎縮症患者の脳組織 10 名分と健常対象者の脳組織 2 名分を解析に用いる。残余試料が発生した場合、NCNP ブレインバンクおよび美原記念病院に相談し、返却ないし破棄する。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2007年10月31日以降に NCNP 病院および美原記念病院で多発性硬化症と診断された方

利用する試料・情報等

試料:脳

情報等:診療録(年齢、性別、診断名の結果)

研究期間

2021年12月7日より2026年12月31日まで

【共同研究機関】

国立精神・神経医療研究センター

研究責任者 村松里衣子(研究代表者)

美原記念病院

研究責任者 美原盤

作成年月日：2022年6月24日 第2版

国立がん研究センター	研究責任者	岡本康司
国立がん研究センター	研究責任者	関根圭輔
千葉大学	研究責任者	真鍋一郎
株式会社マクロジェン・ジャパン	研究責任者	安光得

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属 神経薬理研究部 氏名 村松里衣子

電話番号 042-346-1725

e-mail:muramatsu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)